

事業評価個票（事業実施：令和7年度）

(様式 1)

事業名	食と農の需給マッチング支援事業費			開始/終了(予定)年度		令和7 / 未設定	
部局・担当課名	農林水産部農産物販路開拓・輸出推進課						
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	〔政策の柱2〕競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化 〔政策2〕収益性の高い農業の展開					
	施策	〔施策4〕6次産業化の展開などによる付加価値の向上					
	目標指標	食品製造業等の付加価値額			565億円（令和11年度）		
事業の目的	通常の流通ルートに乗りにくい地域の食材の販路開拓に向けて、マッチングアプリを活用し生産者と地域のレストランやホテル等の実需者を直接つなぐモデル事業を実施し、費用対効果や課題を検証する。						
事業概要 (令和7年度の実施内容)	以下の事業を行う事業者に対して、アプリの導入経費や事務費を補助する。 1) 実需者からの発注と、農産物生産者の納品可能な品目・数量を登録する マッチングアプリの管理・運用 2) 生産者から実需者への品物の配送又は受け渡しの調整 3) 代金支払いの管理						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他（ 						

事業所管部局による評価・検証（令和 年 月）

項目		評価 (ABC)	評価に関する説明		
事業の 必要性	事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。 また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。			課題	
	支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。				
事業の 効率性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 また、類似事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。			今後の対応	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。 また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。				
事業の 有効性 (達成度)	活動実績は見込みに見合ったものであるか。 また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。			今後の対応	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				

(評価基準)「事業の必要性・事業の効率性 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」

「事業の有効性(達成度) A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(80%未満)」